

令和元年度 事業計画

1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

JCDの明確なビジョンを整理していきたいと思っています。特に入会の際に聞かれるメリットに対する回答を、皆様と共有化していく事が必要であろうと考えております。

本年度から日本空間デザイン賞がスタートします。初開催となりますし、JCDの屋台骨でもありますので、これは必ず成功させなければなりません。その為には、皆様のご協力が不可欠です。何卒お力添えをお願い致します。

合わせて、広報委員会の活動を活性化させ、JCDやアワードの活動をより広く伝えていかなければなりません。空間デザインといえばJCD、と誰もが知っている存在になっていきたいと考えております。

以前から話のあった北陸支部立ち上げを進めていきたいと思っています。メンバーとの交流も引き継ぎ、いよいよスケジュールを組んで、立上げを推進して参ります。

昨年に引き続き、メンバーの増強と若返り、アワードの活用、メンバー交流の活性化をさらに進めます。各委員会、支部の方々と詰めていきたいと思います。

また、国内のデザイン団体との関係を構築し、海外との交流も活性化させて参ります。とくに若手デザイナーを海外のイベントに連れていくなど、新しい日本のデザインを発信していきます。本年度は、秋に香港にてEast Gatheringの開催、APSDA会議、Sky Design Award（中国Merci Media）などを中心に活動をしていきます。

最後に、JCDは2021年に60周年を迎えます。これを記念する事業をやりたいと思っています。それに向けた活動方針を定めて参ります。

2. 主要事業計画の概要

（1）事業部（部長：永井資久）

（委員長会議議長：大滝道晴）

- JCD事業部の各委員会に更なるの組織充実をお願いする。

副委員長、書記、会計（経費の把握）、作業に伴うメンバーの充実等

- 特に、新規正会員及び賛助企業の方々を各組織の中に取り組み。

<各委員会ごとのサポート事項>

1. 賛助委員会

- 2019年の新『プロダクトオブザイヤー』の結果を受け、反省、改善事項等の会議を開催推進する。

2. Soda委員会

- 同委員会は、委員長以下の組織改定を行う。
 - 副委員長として長年 Soda 活動に、尽力を尽くされた、小田切純子氏の JCD 退会に伴う、業務振り分けの再検討。
 - 更なる活動対象の学校、団体等へのアプローチ強化。
3. デザイン賞委員会
- 合同デザイン賞の実施のため準備を含め、笠原委員長をサポートして JCD として DSA と共に成功に導くサポートを行う。
4. シンポジウム委員会
- 協賛企業依頼のサポート。
 - 会場設営のための学生等の手配及び協賛企業依頼サポート。
5. その他
- 必要に応じて、他の委員会をサポートを行う。

①デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

■日本空間デザイン賞 2019

- JCD+DSA 三役調整会議を月一回開催し、新アワードの概要を随時決定する。
- 合同アワード準備委員会内に「運営部会」「集計部会」「制作物部会」「広報部会」という分科会を設置し、各部会で担当項目を調査、検討、決定する。
- 2月12日 JCD+DSA キックオフミーティング
- 新アワードの HP を立ち上げ、応募要項を配信開始。
- 4/1～5/16 公募期間
- 6月上旬ネット1次審査
(審査員 A グループ 30 名、B グループ 30 名、C グループ 30 名、合計 90 名)
- 審査終了後、1次審査グループ調整会議
Long List (入選作品) を決定。 HP 上で公開。
- 6月下旬ネット2次審査
(審査員 A グループ 8 名、B グループ 10 名、C グループ 10 名、理事 6 名、合計 34 名)
- 審査終了後、2次審査グループ調整会議
Short List (BEST110) を決定。 HP 上で公開。
- 7月上旬～2週間 BEST110 受賞者の A2 ボード 2 枚製作期間
- 8月3日(土) 公開3次審査/ファイナル審査
3次審査員 11 名 会場未定
11 ジャンルにそれぞれ金賞、銀賞、銅賞を選出 (33 作品) HP 上で公開
同日、金賞 11 作品から大賞 1～3 作品を選出。ただし発表は贈賞式において行う。
- 9月中旬～10月末 贈賞式 場所は未定
贈賞式において大賞を発表

○受賞者は年鑑に掲載予定

○2月上旬～2週間 KUKAN DESIGN AWARD 2019 展 GOOD DESIGN MARUNOUCHI において
トークイベント2回、懇親会2回開催

②Soda 委員会（委員長：新藤 力）

昨年度のエピソードとしては、九州地区で初めてとなる出前授業を大分県杵築市で開催できたこと、福島県郡山市で東北支部4回目となる出前授業を Soda 活動史上最大規模で実施できたことがあげられ、委員会活動の推進力となりました。関東地区でも新規校2校を含む5校での出前授業のほか、タイアップ形式のワークショップを2回開催。北海道支部、沖縄支部、関西支部(タイアップ事業)、九州支部(デザインスクールキャラバン)においても継続的な活動が実施されています。中部支部、四国支部、中国支部も実績がありマッチングできればすぐにでもワークショップの開催が可能です。Soda 委員会の大きな目標である、全国支部での独自開催と継続的な実施に向けて活動が定着しつつあると感じています。今年度も、関東地区での継続的な開催と新規校の開拓、支部開催の支援に尽力するとともに、新しいプログラムの開発、対象を拡大したワークショップあるいはレクチャーの開催にもチャレンジしていきたいと考えています。

Soda 委員会の活動は正会員・賛助会員の協働により成立している活動です。今年度も多くの会員の皆様が参加していただける環境をつくることに努めます。

③シンポジウム委員会（委員長：水谷晶人）

■SECTION61 の開催

SECTION61 の開催を致します。

昨年は、60回目という大きな節目を迎えました。

今年度は昨年に引き続き、今までの商環境デザインの変遷を紐解く内容のシンポジウムの開催を目指したいと考えております。

時期については8～9月頃の開催を目指したいと思っております。

同様に、シンポジウムの安定的開催を目指し、会場の固定化、協賛会社へのメリット強化、JCDの宣伝強化などを視野に入れながら、次回開催につなげたいと考えております。

また、講演者についても、時代を反映するような方々をお招きし、より多くの方々にご参加をいただく事で JCD の認知向上および社会貢献に関与出来るシンポジウムを開催したいと考えています

④広報委員会（委員長：飯島直樹）

1. JCD デザインアワードと、60回を終えたロングライフイベント SECTION のアーカイブをまとめた。書籍刊行を目標に協賛の仕組みを計画する。

2. JCD 本部事務所の活性化、テナント同居する JIPA や IALD との協力関係の活性化につながるクラフテックギャラリーを介した事業を企画する。(タカハシツキイチは先行事例)
3. SECTION の今後の開催予定。昨年 10 月の杉本貴志氏のシンポジウムを契機とし、20 世紀の時代を画したインテリアデザイナーの軌跡をテーマに、内田繁氏 (2019 年開催)、倉俣史朗氏 (2020 年開催) を取り上げる予定。
4. SHOKANKYO 87. JCD アワードと DSA アワードが統合した新アワード「日本空間デザイン賞 / KUKAN DESIGN AWARD (SPATIAL DESIGN INITIATIVE JAPAN)」を多角的に取材、特集する。

⑤国際委員会 (委員長: 武石正宣)

今年度は秋に、香港にてイーストギャザリングを行うとして、計画を HKIDA 主体で行なっています。今季はそれに対する出席と参加メンバーの確定が国際委員会の主な事業になります。

前回のシンガポール SID で行なった会が、香港、日本、台湾、韓国、シンガポールと五カ国に増やしたことで、かなり運営とプログラムに無理が生じ、またその内容にもブレが出ました。それを踏まえイーストギャザリングの意図を理解している、香港、日本、台湾を中心とした従来の形にしようかとの内容でしたが、次回主催の香港 HKIDA にその内容に関してはお任せする形になりそうです。

⑥賛助委員会 (委員長: 森川 一)

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

1. 「JCD Product of the year 2020」の実施。
14 年目に突入し昨年新たに新設された広告の見直しをはかります。
また、より多くの賛助企業が参加できる Product of the year を模索します。
2. 賛助企業同士の交流会の実施
全国賛助のみならず参加可能な近接する支部賛助間での交流を深め Product of the year の今後のあり方等話せる場を提供する。
またこのネットワークを利用し賛助会員の勧誘も視野に入れる。
まずは第一回の開催を目指す。

以上 2 点で賛助委員同士の交流、正会員との交流を深め
お互いに WIN WIN となれる関係作りを進めて参ります。

⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

1. JAPAN SHOP 2020 について

- ・すでに JAPAN SHOP 2020 の開催が決定されており、会場もビッグサイトの東棟から西・南展示棟 2 会場同時開催となることが決定。
- ・又 2021 年は JAPAN SHOP 50 周年に当たるので日経としても特別なイベントとして考えられる可能性がある。

2. 年鑑刊行委員会について

12 月 12 日に年鑑発行予定から逆算し

- ・6 月末の 2 次審査終了後、直ちに画像提出
- ・8 月 3 日の公開審査終了後、顔写真、審査経過報告、総評、講評を 22 日までに提出
- ・8 月 5 日に写真選び

初めての合同アワードで、時間もかなりタイトなのでブックデザインは昨年同様中野豪雄さんにしたいとのことでおおむね合意。

3. 今年度事業計画

今年度からは各団体 20 万円の会費を徴収する。

4. その他

今年度から 2 年間 JCD が幹事団体となり、窪田理事長が空間デザイン機構理事長となる。

⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

前期は開催が思うように進まなかったが、今期はコンスタントに開催し、JCD 会員のみならず多くの女性達と共にデザインやその周りの環境について独自のテーマを持って会を開催し最終的には JCD 活動にも関心を持って参加してもらえるように運営をしたい。

(2) 支部統括部（部長：小坂 竜）

(支部長会議議長（東日本）：長谷川 演)

まずは北陸支部を成立させる。

北陸も各都市間に距離もあるため、バランス良く、広くメンバーを募りたい。

そして、トークイベント、SODA なり、さらに何かアクションを起こし、JCD の意義と社会的役割を正しく伝えたい。

(支部長会議議長（西日本）：加藤博正)

平成 31 年度の支部長会議は、JCD と DSA の合同でデザインアワードが行われ、日本を代表するデザインアワードが歩み始めるのである。内容等は、従来の単独アワードよりよりレベルアップしているわけです。

これを機会に両協会が活発な動きが期待される今、JCDとして何をなすべきか？それぞれの支部活動も目標が見えてきたようである。

マーケットの声は、格好いいデザインの店を求めているのか？はたまた、売り上げの上がる店のデザインとは何か？と暗中模索の状態である。

そんな中、JCD支部長会議の今年のテーマは、各支部と調整の上、秋に行われる支部長会議で論議する。

① 北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

活動内容

2019年5月9日（木）	北海道支部総会	・収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会等
2019年5月25日（土）	JCD総会、	・中部支部開催（伊勢）
2019年7月3日（水）	運営会議、セミナー	・デザインアワード、デザインキャンプ計画等
2019年8月31日（土）	デザインキャンプ	
2019年10月2日（水）	運営会議、セミナー	・北海道デザインアワード計画、SODA
2019年11月6日（水）	運営会議	・北海道デザインアワード計画、SODA
2019年12月上旬	soda 桑園小学校	
2019年12月中旬	Design Xmas Party	
2020年2月上旬	デザインアワード	・北海道デザインアワードパネル展
2020年3月7日（木）	運営会議	・来期の事業計画等 ・収支状況の報告、支部総会計画等

② 東北支部（支部長：大塚真司）

31年度は青森、秋田、岩手との積極的な交流をし、支部事業へ積極的に参加で出来る仕組みを構築し、そこからさらに若手デザイナーを発掘していきたいと思えます。また東北支部での日本空間デザイン賞、受賞作品展示を他団体との合同で開催し、JCDを広めて行く活動をしていきたいと思えます。

【主な活動スケジュール】

4～5月	東北支部役員会	・31年度活動計画 ・予算案 ・日本空間デザイン賞支部開催実行委員選定
------	---------	---

- ・ Soda 実行委員選定
- 青森・秋田・岩手地区合同懇親会
- ・ 地元若手デザイナーへの J C D 活動アピールと新会員懇親会
- ・ 地元賛助会員の商品 P R 会
- 7 月 東北支部定時総会（宮城地区開催）
 - ・ 地区長会議
 - ・ 通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
 - ・ 賛助会員に依る企業、商品 P R
 - ・ 講演会
- 東北支部ゴルフコンペ（宮城開催）
- 8 月 ビアパーティー開催
 - ・ 若手デザイナーへの J C D 活動アピール
- 9 月 Soda 活動準備委員に依る運営会議
- 10 月 デザインキャンプ・デザイン発表会開催
 - ・ 工場視察
 - ・ 賛助会員に依る企業、商品 P R
 - ・ 正会員のデザイン発表会
- 11 月～12 月 日本空間デザイン賞 東北支部展示開催
- 1 月～2 月 新年会開催
- Soda ワークショップ説明会
- Soda ワークショップ開催
 - ・ 懇親会

③ 関東支部（支部長：小田秀樹）

* 今期は各委員会活動へ正会員・賛助会員の参加を促進する。

（新藤力副支部長、品川正之副支部長）

■ 研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

1) とくトーク 5 回開催予定

・ 5 月下旬（賛助会員予定）・8 月下旬・11 月下旬・1 月下旬・3 月下旬「日本空間デザイン賞受賞者予定」

■ 支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、本間克典副委員長

1) 原則月 1 回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

2) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。

正会員の委員会への参加要請、全国賛助委員会、Soda 委員会への協力等。

3) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。

賛助会員ショールーム、工場などの見学会等。

4) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。

5) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。

恒例のBQ会、熱海花火大会、ゴルフ会。正会員 VS 賛助会員ボーリング大会等。

6) 関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

7) 関東支部賛助委員会として賛助企業のパンフレット作成を実現したい。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

1) 機関誌、31年度は現時点で年3回発行の予定。

2) 一回目（7月末発行予定）総会特集・とくトーク・プロダクトアワード・SODA委員会報告・あのことろ・新人会員紹介など

3) 二回目 夏/秋号（11月末発行予定）・とくトーク・会員の近況・クラブ活動報告・新人会員紹介・夏のパーティー報告・SODA委員会報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介

4) 三回目 冬/春号（3月中発行予定）・とくトーク・会員の近況・あのことろ～JCDの重鎮と新人会員紹介・冬のパーティー報告・SODA委員会報告（担当者）・新人会員・準会員紹介・賛助委員広告枠など

5) 今期より「あのことろ」「新人会員のご挨拶」を隔発行で考えております。

本部イベントなども記事にしていく方向で考えており、ページ数が増えるので広告数を増やしたく思っております。委員の方々のご協力を是非よろしくお願いいたします。

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

1) トップページの画像に変化を持たせるなどホームページの鮮度を保っていく。

2) さらに正会員のHP掲載数を増やす。

3) 「JCD関東支部 Face bookページ」にてイベントの立ち上げを積極的に行いイベントページに認知度の向上を図る。

4) 「JCD関東支部 Face bookページ」を利用して会員の近況情報及び賛助会員情報の告知を積極的に行う。（只今賛助委員会と調整中）

5) 「JCD関東支部 Face bookページ」から「JCD関東支部ホームページ」への誘導を行いホームページの認知度を向上させる。

6) JCD本部の広報委員会との連動を行い、JCD関東の認知度の向上を図る。

■交流委員会：折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦副委員長

1) JCD 各方面でもセミナー活動等活発になっており、今期も引き続き、交流委員会では「ここでしか聞けない切り口のセミナー」の実施や音楽などを通じての交流活動の場を、JCD 以外の方々にもご参加いただける魅力ある会を開催していきたいと考えております。パーティーの時期は8月と2月の会場がオフシーズンに開催したいと考えています

■特別委員会：星明臣委員長、木村倫香副委員長

1) 2019年は「日本香港観光年」ということでもあり、Discover Hong Kong 等々の研修

旅行を計画を検討中です。

④ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

- 4月 支部会議
 - ・ 定時総会準備
- 5月 支部会議
 - ・ 支部総会準備
- 5月 定時総会開催
- 6月 支部総会開催予定
- 7月 支部会議
 - ・ 中部支部 SODA 事業
- 8月 夏のビアパーティー開催予定
- 9月 支部会議
 - ・ 中部支部 SODA 事業準備
 - ・ 若手デザイナーによるシンポジウム計画
- 10月 支部会議
 - ・ 中部支部 SODA 事業開催予定
 - ・ デザイントリプレックス 16
 - ・ 若手デザイナーによるシンポジウム開催予定
- 11月 支部会議
 - ・ 忘年会開催準備
- 12月 忘年会開催予定
- 1月 支部会議
 - ・ 北陸支部との交流
 - ・ デザイントリプレックス 16、JCD, DSA, SDA 3 団体合同会議
- 2月 北陸支部との交流
 - ・ 北陸デザインフォーラムに参加予定
 - デザイントリプレックス 16 開催準備
- 3月 本部理事会参加予定
 - デザイントリプレックス 16 開催
 - ・ 3 団体デザインアワード受賞作品 「日本の空間デザイン賞」 展示
 - ・ シンポジウム開催予定
 - ・ 懇親会パーティー開催予定 ※賛助会員合同

⑤ 関西支部（支部長：中村裕輔）

例年の活動の質的向上を計り、大阪デザイン団体連合・大阪デザインセンターとの

連携により新たなくくりによりデザイン発信を行います。又、住まい情報センター主催による出前講座により出前授業の実現を計ります。

4月～大阪デザインセンター主催「デザインカンファレンス」の協議

2020 年秋、大阪デザインセンター開催の「デザインカンファレンス」開催に向けての企画提案 インバウンド観光をテーマにした協議

4月～大阪万博に向けての協議

大阪デザイン団体連合 USD-0 を中心とした大阪万博への取り組み

6月 支部集会（賛助会員 PR 会・懇親会）

屋敷「あまべ」にて開催予定

7月 28日 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業+「こどもたちと創る商店街」
模型ワークショップ+商店街見学

8月 ビアパーティ開催

9月 次世代向けセミナー vol 2 開催

10月 関西学生シンポジウムの開催（4 団体共催）

大阪デザインセンターにて開催 5 団体合同（JCD/JID/JIDA/KIPA）

10月 DIY フェス ワークショップフェス

大阪市立住まい情報センター

テーブルランプ作りのワークショップ JCD ブースの設置

11月 大阪市商店会総連盟主催

「第 10 回大阪市あきないグランプリ表彰式」

大阪産業創造館

12月 クリスマスイベント

新企画トークセッション & ライブ（JCD West Band）

3月 4 団体連合 「日本の空間デザイン展」

未定 タイアップ事業 出前講座

未定 女子会開催

⑥中国支部（支部長：深田勝哉）

平成 31 年度の中国支部活動方針は「正会員の交流と若手会員の増強」をテーマに、支部創りを目指します。前年度同様に、デザイナーと地域との交流の場創り、デザイン会議、デザインセミナー、デザインアワード、デザイン研修など様々な活動を通して、支部に関わるデザイナーにとって活躍しやすい支部を目指してまいります。

31 年度事業内容

● 組織改革・・・若手会員の増強、若手正会員が中心となって活動できる環境創り。

● 例会活動・・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。

親睦活動などに加え、若手デザイナーによる新しいプログラムを検討し、デザインについての発表場としたいと考えています。

通年・・・各地（岡山・福山・広島）での懇親会、賛助会員によるミニセミナー。

秋・・・国内外を問わず、デザイン研修旅行の計画。

冬・・・他支部との交流会「鍋塾」の計画。

4月	31年度支部総会 前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発	(岡山)
5月	31年度定時総会（中部支部）への参加	(東京)
6月	第2回JCD中国支部例会&ミニセミナー	(福山)
8月	第3回JCD中国支部例会&ビアパーティー	(広島)
10月	第4回JCD中国支部例会&ミニセミナー 海外デザイン研修	(岡山) (未定)
11月	広島デザインデイズ 2018 開催	(広島)
12月	第5回中国支部例会 & 大忘年会	(福山)
2月	第6回中国支部例会 & デザイン交流会・鍋塾	(未定)

●地域活動

支部事業である、「広島デザインデイズ」を地元との交流、そして広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校、地元商店連合会など参加者を増やし地元根付いたデザインを中心とした交流の場活にしたいと考えます。

7月	広島デザインデイズ 2019 第一回準備委員会	(広島)
8月	広島デザインデイズ 2019 第二回準備委員会	(広島)
9月	広島デザインデイズ 2019 第三回準備委員会	(広島)
10月	広島デザインデイズ 2019 第四回準備委員会	(広島)
11月	広島デザインデイズ 2019 開催	(広島)

⑦四国支部（支部長：長尾勝彦）

基本方針

1. HP, SNS, を活用してより JCD 支部活動を発信して新会員増強へつなげる。
2. SHIKOKU デザインフュージョンを通じて他団体との交流を強める。
3. 社会貢献を軸に地域に必要とされるデザイン風土とは検証する。
4. 女性会員が集まりやすい楽しい会を目指し支部の魅力を上げる。
5. 企業とのコラボ企画を軸に支部賛助会員を増強する。

2019年活動予定

- 3月、ランチ会議（SHIKOKU デザインフュージョンについて）
- 4月6, 7日、サンポート SHIKOKU デザインフュージョン開催予定
- 4月、お花見会
財団法人川島猛アートファクトリー春の公開アトリエ
- 5月、名古屋総会、定例理事会、懇親会
- 5月、瀬戸内国際芸術祭（ふれあう春）
- 6月、日本空間デザイン賞1次審査
- 7月、ランチ会議
- 8月、JCD+遠藤照明セミナーパーティ予定

9月、高松市歴史資料館企画心を豊かにするデザイン、未定、参加予定

10月、瀬戸内国際芸術祭（ひろがる秋）

11月、日本空間デザイン賞贈賞式、理事会、支部長会義

財団法人川島猛アートファクトリー秋の公開アトリエ

12月、合同忘年会

2020年

1月、賀詞交歓会

2月、専門学校穴吹デザインカレッジ、デザイン展後援

3月、第1回理事会

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

九州支部は、NPO法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などへの参加を行っていき、知名度拡大に重点をおいてまいります。又、会員も少しずつ増えている状況ではありますが、より一層の増員が出来る様に月例会・セミナー・イベントなど積極的に開催し、魅力ある九州支部を目指してまいります。

以下予定活動

- (1) 4月～毎月 月例会開催（セミナー・勉強会）
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (3) 6月 支部レクリエーション開催
- (4) 7月 ビアパーティ開催
- (6) 10月 出前授業ワークショップの開催
- (7) 11月 日本空間デザイン賞パネル展の開催
- (8) 12月 九州支部忘年会開催
- (9) 1月 九州支部新年会開催

⑨沖縄支部（支部長：山里健市）

31年度は 定着したイベントの完成度を高め、「やっぱり JCD は面白い！」をキーワードにブラッシュアップして参ります。支部賛助会員との交流を含め、気軽に参加頂ける環境作りが出来れば 面白い事が作り出せ、おのずと正会員入会にも繋げていけると思います。

上記以外として 今年度中に実現可能かは未定ですが、幾つかの支部で行われている「支部デザイン賞」的な事を 沖縄支部でも開催できるよう 検討を重ねていきます。

■主な活動計画

- 1) 4～6月 ・支部定例会の開催（4月・6月）
 - ・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC協会 他）
 - ・賛助委員会主催の懇親会・セミナーなどの計画～開催。

- ・支部デザイン賞について意見交換・実行委員会発足。
- 2) 7～9月
 - ・支部定例会の開催 (8月)
 - ・JCD CREATERS BEACH BBQ 2019 開催・・・(固定イベント)
 - ・SODA (ワークショップ) の計画
- 3) 10～12月
 - ・支部定例会の開催 (10月・12月)
 - ・SODA (ワークショップ) の開催。
 - ・トータルリビングショーへの共同参加
(前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り)
 - ・JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2019」開催
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関する個人・他団体と1年を振り返って。)
- 4) 1～3月
 - ・支部定例会の開催 (2月)
 - ・SODA (ワークショップ) の開催。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

① 財務委員会 (委員長：太細 通)

令和元年度予算は、事業活動収入 5,076 万円、事業活動支出 4,553 万円で、523 万円の大幅な黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が 461 万円の黒字、9 支部合計で 62 万円の黒字の収支予算です。

本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分は見込む必要があります。

事業活動収入において、会費収入は会員数が増加したため 30 年度予算より 226 万円増。事業収入は 30 年度予算に比べ 666 万円もの増予算としています。内訳は、設計奨励事業 500 万円増、講習会収入 60 万円増、研究会収入 42 万円増。逆に収入減は著作権収入減が 60 万円減、特別会費つまり賀詞交歓会の収入 10 万円減等です。

事業活動支出においては、昨年度予算より合計 560 万円増となります。昨年度予算に比べ増額が大きいところでは、今度の総会が中部支部担当で諸イベント等が開始されるため 124 万円、設計奨励費が DSA との統合した日本空間デザイン賞の JCD 費用負担分が 100 万円、講習会費が昨年途中にスタートしたトークイベントのタカハシツキイチがフルに毎月開催となり 62 万円増が主な項目です。逆に減額は、今年度は会員名簿発刊がなく 35 万円減、報酬指針作成が今年度で完了したので広報費が 23 万円減等です。

結果収支差額は 523 万円の黒字で昨年度予算より 332 万円の大幅増となります。

尚、事業収入、事業支出とも昨年度より大幅な増額になりましたのは、今年度が初回の日本空間デザイン賞の収支計画が、応募料を 2 倍強、応募数は変化なしとの前提によるものです。

年々減少の一途でありました会員数の減も、賛助会員、特に全国賛助会員が大幅に増え約8%増収の予算を図ることができました。正会員は支部のばらつきがありますが減少に歯止めがかかりわずか1%ではありますが増収予算を図ることができました。結果会費収入が昨年度予算より226万円、約8%強増の予算になりました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、更なる会員増強を図ることで収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。昨年度同様会員増のためには留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCDへの社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。

肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、寒川評議員、山田評議員、星の7名で構成されています。

3. その他会務に関する事項

(1) 功労賞表彰

平成31年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

該当者なし

支部功労賞受賞者

平尾 哲 氏（北海道支部）

岡島 昇 氏（関西支部）

(2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、一般社団法人日本空間デザイン協会との2019年からのデザイン賞の統合推進、また新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通し積極的かつ実のある活動を目指す。